

◆指揮
松井 和彦

◆演出
岩田 達宗

◆出演者

旅籠「日本橋刈屋」

刈豆屋（オーナー）… 竹内 直紀*
通り番頭 善六…………… 迎 肇聡*
善六の女房…………… 池田 香織

旅籠「神奈川新羽屋」

おかみさん…………… 田中 千佳子*
女中さん…………… 黒田 恵美*
稲荷大明神…………… 五島 真澄*
閻魔女王…………… 栗原 未和*

大坂「鵜池」

主人…………… 山本 康寛*
令嬢…………… 飯嶋 幸子*
支配人…………… 西尾 岳史
ガードマン…………… 大野 隆

従業員達…………… 合唱

ピアノ…………… 植松 さやか
岡本 佐紀子

打楽器…………… 深澤 学 ほか

舞台…………… (株)ザ・スタッフ

*…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

2023

3.25 (土)

【第1回公演】 11:00 開演 / 10:30 開場

【第2回公演】 14:30 開演 / 14:00 開場

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール 小ホール

全席指定…3,000円 (税込)

落語オペラ

お神

酒

徳

和

「インチキ占い師の東海道ワクワクドキドキ珍道中」

み

き

ど

っ

く

り

脚本

作曲

松井

和彦

宇宙初演

チケットの取り扱い・お問い合わせ

びわ湖ホールチケットセンター
滋賀県大津市打出浜15-1
Tel.077-523-7136 (10:00~19:00)
<https://www.biwako-hall.or.jp>

※火曜休館、祝日の場合は翌日
※年末年始 (12/29~1/3) は休館

※新型コロナウイルス感染症予防にご理解とご協力をお願いします。
※4歳未満のお子さまはご入場いただけません。
※都合により、出演者等が変更になる場合があります。

チケット発売日

一般：12月17日(日) 10:00~
びわ湖ホール友の会優先：12月15日(木) 10:00~

公演に関するお問合せ

✉ biwakonokoe@gmail.com (びわこのこえ)

☎ 090-6664-5917

※びわ湖ホール友の会優先発売のチケットは一般発売日から発売
できます。
※ネット・チケットまたは電話受付のみ。
※びわ湖ホール友の会優先発売期間中の窓口販売はございません。

主催：びわこのこえ 共催：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール



指揮・作曲・台本 松井 和彦

1951年、東京生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。東京二期会等で音楽スタッフとして、オペラ製作の現場に携わる。処女作、オペラ「泣いた赤おに」で、ジローオペラ賞新人賞を受賞。作品はほかに「笠地蔵」「インソップオペラ」「花咲かじいさん」などがある。近年、落語オペラシリーズに取り組み、「お神酒徳利」は、その第四作になる。東京芸術大学助教授をはじめ、国立音楽大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学などで、長年、オペラ歌手の指導にあたった。



演出 岩田 達宗

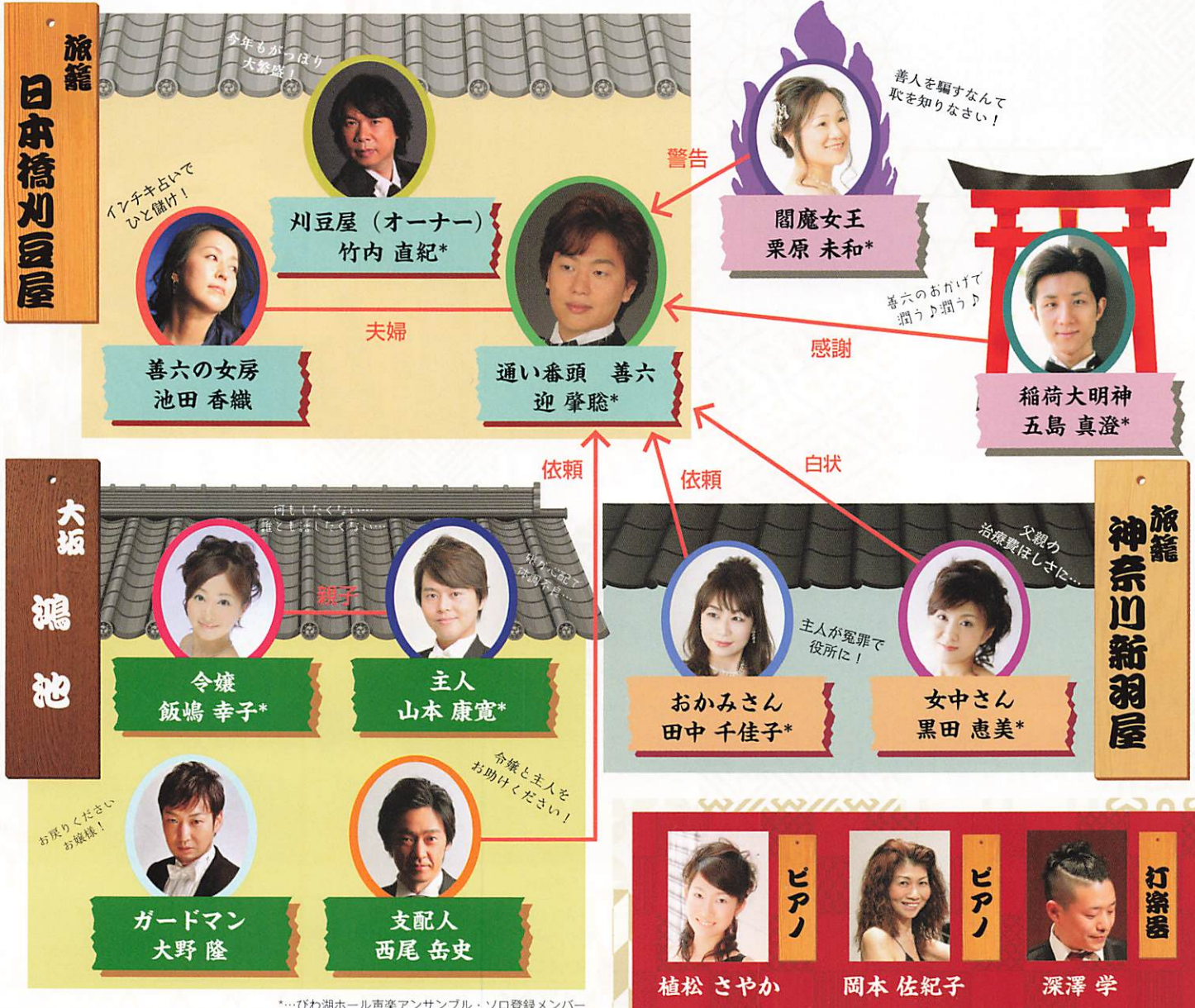
オペラ演出家。個人として、五島記念文化賞オペラ新人賞、音楽クリティッククラブ賞を受賞。作品は芸術祭大賞、三菱UFJ音楽賞、佐川吉男賞など受賞多数。近年はリモート講義「岩田達宗道場」をバリトン歌手迎撃聡を中心に開講し、全国のオペラ歌手に向けて研鑽と演奏の場として広く門戸を開いている。ひろしまオペラルネッサンス芸術監督、大阪音楽大学客員教授、武蔵野音楽大学特任准教授。

あらすじと登場人物

暮れも押しつまった、旅籠《刈豆屋》。オーナーの威勢の良い掛け声とともに大掃除に勤しむ従業員たち。遅れてやってきた番頭の善六は、將軍様から旅籠へ贈られた宝物、「お神酒徳利」が転がっているのを見つける。これは不用心だと徳利を水瓶の中に隠した善六だが、掃除に戻るとそのことをすっかり忘れてしまう。忘年会の最中、徳利が消えたこと大騒ぎになり、宴会は中止。帰宅した善六は女房に出来事を話そううちに、徳利を水瓶の中に入れたことを思い出す。しかし今さら自分が徳利を水瓶の中に入れたとは、言い出しにくい…そこで女房の思い付きで、インチキの算盤占いで徳利の在処を言い当てることに。見事徳利を探し当てた善六に、従業員一同は「カリスマ預言者万歳!」と大喜び。事の顛末を見ていた大坂《鴻池》の支配人が現れる。主人の令嬢が気力の起さぬ「ぶらぶら病」にかかり、そのせいで主人も体調を崩してしまったりと、善六に助けを求める。引き受けたくない善六であったが、大金持ちの《鴻池》からの依頼と聞いて飛びついた女房にそそのかされ、大坂に向かうことに。

道中、宿泊先の神奈川《新羽屋》に到着するも、おかみさんの様子がおかしい。話を聞くと、亭主が宿泊客のお金を盗んだと訴えられ、役所に捕らわれの身になってしまったという。お金の在処を見つけてほしいと懇願される善六は、仕方なく承諾するも逃げ出したい気持ちでいっぱい。部屋で苦悶していると閻魔女王が現れ、嘘を重ねることを戒める。ところがなんとそこへ《新羽屋》の女中が現れ、父親の治療費欲しさにお金を盗んでしまったことを告白する。お金の隠し場所を聞き、「これはしめた!」と善六は皆を呼び、算盤をはじめ「稲荷大明神の床下をご覧あれ」とまたしてもインチキ占いで事件を解決するのであった。

大坂《鴻池》に到着した善六。最上級のもてなしを受けるも、今度こそ何もわかるはずがないと煩悶していると、稲荷大明神が突如現れる。善六の古いのおかげで稲荷の社へ人が殺到し、巨額の利益を得たことへのお礼として、令嬢の病を治すには観音像を掘り出し、崇めるようにと教示する。善六は例によって皆の前で算盤占いを披露し、見事令嬢の「ぶらぶら病」は全快!一同は、善六のケタ違いの運勢を讃えるのであった。



*…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー